

令和2年度第1回長浜市国民健康保険運営協議会 会議次第

日時:令和2年8月26日(水)午後2時～

場所:長浜まちづくりセンター2階 多目的ホール

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員・職員自己紹介

4. 会長及び副会長の選出

5. 会議録署名委員の指名

6. 議 事

(1) 令和元年度国民健康保険特別会計決算について

(2) 令和元年度国民健康保険特別会計(直診勘定)決算について

7. そ の 他

8. 閉 会

長浜市国民健康保険運営協議会委員名簿

令和2年7月1日現在(敬称略)

区 分	氏 名	団 体 名
被保険者を代表する委員	廣 部 恭 子	長浜市商工会議所推薦
	保 積 郷 司	長浜市農業委員会推薦
	川 瀬 等	公募
	岡 本 茂	公募
保険医または保険薬剤師を代表する委員	布 施 隆 治	湖北医師会推薦
	安 達 貴 子	湖北医師会推薦
	川 瀬 仁 史	湖北歯科医師会推薦
	室 谷 節 子	湖北薬剤師会推薦
公益を代表する委員	小 林 治 一 良	有識者
	福 井 正 俊	有識者
	中 川 祥 子	長浜市健康推進員協議会推薦
	野 村 桂 子	滋賀県社会保険労務士会推薦
被用者保険等保険者を代表する委員	宇 田 泰 明	滋賀県被用者保険等保険者連絡協議会推薦
	袴 田 賢 二	滋賀県被用者保険等保険者連絡協議会推薦
	加 藤 理	滋賀県被用者保険等保険者連絡協議会推薦

事務局	米 田 幸 子	市民生活部長
	曾 我 浩 士	市民生活部次長
	為 永 智 子	保険医療課長
	大 谷 隆 久	税務課長
	松 橋 勇 次	滞納整理課長
	明 石 圭 子	健康福祉部管理監0次予防健康づくり推進事業担当・健康企画課長
	野 村 和 博	地域医療課長
	織 田 里 美	健康福祉部健康医療管理監・健康推進課長

概況

(1) 総括事項

国民皆保険制度を支える重要な基盤である国民健康保険制度を安定的に運営するため、平成30年度から県が保険者として加わり、財政運営の責任主体となる都道府県単位化がスタートしました。

令和元年度の保険料率については、県が示す標準保険料率は、前年度と比べ平均世帯で8.0%引き上げでしたが、被保険者の負担軽減を図るため、3.0%引き上げに抑制しました。

これに伴って、生じた財源不足については、財政調整基金から6,500万円を取り崩し、財源を確保しました。

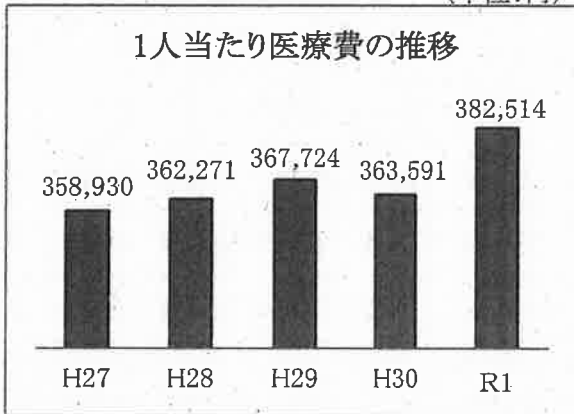
(2) 利用状況

● 被保険者数の状況

	令和2年3月末	平成31年3月末
被保険者数	23,892 人	24,587 人
一般	23,887 人	24,495 人
退職	5 人	92 人
世帯数	14,662 世帯	14,903 世帯

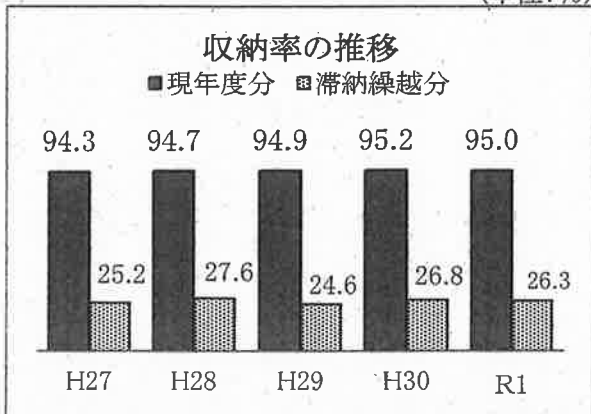
● 医療費の状況

(単位:円)



● 保険料収納率の状況

(単位:%)



(3) 収支の状況

歳入総額	11,431,634 千円	(前年度	12,096,241 千円)
歳出総額	11,423,586 千円	(前年度	12,020,141 千円)
歳入歳出差引額	8,047 千円	(前年度	76,100 千円)
財政調整基金現在高	392,109 千円	(前年度	455,678 千円)

未収金の状況

(単位:円)

	調定額	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			うち還付未済額		
国民健康保険料(税)	2,555,299,923	2,241,894,496	2,405,720	50,430,174	265,380,973
一般被保険者療養諸費返納金(現年度分)	6,026,297	5,609,882	0	0	416,415
一般被保険者療養諸費返納金(過年度分)	1,367,397	419,582	0	51,255	896,560

令和元年度長浜市国民健康保険特別会計決算

● 歳入

(単位:千円)

	令和元年度				平成30年度	比較 A/B
	決算額 A	医療分	後期高齢者 支援金分	介護納付金分	決算額 B	
国民健康保険料	2,241,894	1,522,758	524,352	194,784	2,240,411	1.00
国庫支出金	1,497	1,497	0	0	0	-
療養給付費交付金	0	0	0	0	22,481	0.00
県支出金	8,090,893	8,090,893	0	0	7,982,848	1.01
一般会計繰入金	842,359	668,319	131,266	42,774	835,003	1.01
基金繰入金	65,000	65,000	0	0	400,000	0.16
繰越金	76,100	76,100	0	0	576,808	0.13
その他	113,891	113,891	0	0	38,690	2.94
歳入合計	11,431,634	10,538,458	655,618	237,558	12,096,241	0.95

● 歳出

	令和元年度				平成30年度	比較 C/D
	決算額 C	医療分	後期高齢者 支援金分	介護納付金分	決算額 D	
総務費	145,560	145,560	0	0	143,556	1.01
保険給付費	7,927,864	7,927,864	0	0	7,799,843	1.02
共同事業拠出金	2	2	0	0	2	1.00
保健事業費	100,794	100,794	0	0	93,207	1.08
保険事業納付金	3,120,091	2,200,646	677,609	241,836	2,988,559	1.04
その他	129,275	129,275	0	0	994,974	0.13
歳出合計	11,423,586	10,504,141	677,609	241,836	12,020,141	0.95

形式収支	8,047	34,317	△ 21,991	△ 4,278	76,100	
単年度収支	△ 68,052	△ 41,783	△ 21,991	△ 4,278	▲ 500,708	
財政調整基金残高	392,109				455,678	

長浜市国民健康保険特別会計 各決算科目の主な内容

【歳入】

1. 国民健康保険料	
医療分＋支援分＋介護分の合計。医療分は保険給付費等、支援分は後期高齢者支援金、介護分は介護納付金の支払いのために徴収するもの。	
2. 国庫支出金	
オンライン資格確認の改修に必要な経費を補助するもの。	
3. 療養給付費交付金	
退職被保険者に係る保険給付費から保険料収入を控除したもの。社会保険診療報酬支払基金から交付。※平成30年度以降は社会保険診療報酬支払基金から県に交付されるようになった。平成29年度の精算分（追加交付があった場合）のみとなる。	
4. 県支出金	
①保険給付費等交付金 (普通交付金)	都道府県化により、県が医療費の支払いに責任を持つことになったため、市が医療費を支払う財源として医療費相当額が交付されるもの。
②保険給付費等交付金 (特別交付金)	保険者努力制度分 市町村の国民健康保険の運営状況を評価し、交付されるもの。
	特別調整交付金分 市町村の特別の事情に対して、交付されるもの。(国による評価)
	都道府県繰入金2号分 市町村の特別の事情に対して、交付されるもの。(県による評価)
	特定健診分 40～74歳の被保険者が受診した特定健診、特定保健指導に係る費用に対して、2/3が交付されるもの。
③保険給付対策費補助金	マル福（福祉医療費受給券）に関する医療費波及分に係る保険者負担分に対し一定の割合で県が補助するもの。
5. 一般会計繰入金	
①保険基盤安定分	保険料の軽減の対象となった被保険者の保険料軽減分等を公費で補てんするもの。
②給与費	国保事業に従事する正規職員の給与。
③出産育児一時金	出産育児一時金の支給に要する費用の2/3を繰入れ。
④財政安定化	地方交付税措置された国保財政健全化のためのもの。
⑤事務費	国保事業の運営に必要な事務費。
⑥マル福波及分	マル福（福祉医療）に関する医療費波及分に係る保険者負担分。
6. 基金繰入金	
財政調整基金積立にかかる繰入金	
7. 繰越金	
前年度繰越金	
8. その他	
保険料の滞納に係る延滞金、国保資格喪失後受診に関する保険給付費の返還金、基金利子など。	

【歳出】

1. 総務費	
	国保事業に従事する職員の給与費や事務費、国保連合会負担金、国保運営協議会の費用など。
2. 保険給付費	
①療養給付費	診察、薬剤、治療費、入院時食事代など医療サービスの現物給付分。
②療養費	柔道整復師による施術やコルセットなどの補装具など現金給付分。
③高額療養費	医療機関で支払った一部負担金が自己負担限度額を超えた場合に負担するもの。
④審査支払手数料	診療報酬明細書(レセプト)の点検等に必要経費。
⑤葬祭費	被保険者の死亡に対して5万円を支給。
⑥出産育児一時金	被保険者の出産等に対し42万円(産科医療保障制度の対象外の場合は40万4千円)を支給。
3. 共同事業拠出金	
共同事業拠出金	都道府県化によって共同事業拠出金制度は廃止されたが、事務費として、退職者医療共同事業分にかかる拠出金が制度上残るもの。
4. 保健事業費	
①人間ドック助成	人間ドック受診者に対し費用の半額(上限2万円、宿泊を伴う場合2万5千円)を助成するもの。
②高額療養費貸付	医療機関等へ高額医療費の支払いが困難な場合に貸し付けるもの。
③特定健診等事業	特定健診、特定保健指導に係る費用。
5. 保険事業費納付金	
①医療給付分	医療給付を支払う原資の一つとして、県が市から徴収する納付金。
②後期支援金等分	後期支援金等を支払う原資の一つとして、県が市から徴収する納付金。
③介護納付金分	介護納付金を支払う原資の一つとして、県が市から徴収する納付金。
6. その他	
	保険料の還付金、国庫支出金の精算に係る還付金、一般会計・湖北病院等への繰出金 基金積立金、基金利子積立金

令和元年度長浜市国民健康保険事業重点事業実施結果

重点事業	令和元年度の目標	実施結果	評価	評価理由及び対応
重点施策1：適正な資格管理と給付				
高額療養費制度の周知徹底	申請率 50.0%	申請率 54.3%	○	<p>高額療養費申請勧奨を行った対象者の申請率は、目標を達成した。</p> <p>〈取り組み内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、9,000円以上の高額療養費対象者への申請勧奨（対象者864人） ・国保加入時におけるパンフレットの配布 ・証発送時にチラシを同封 ・広報・ホームページによる啓発
重点施策2：保険料の定期的な賦課・徴収				
収納率の向上	現年分収納率 95.0%	現年度分収納率 95.0% (H30実績 95.2%)	○	<p>現年度分収納率は目標収納率である95%を達成した。今年度はLINEPayを導入し、納付環境の拡充を図った。継続的な収納率向上は、適正な資格管理と賦課とともに、コンビニ収納の増加や、督促、催告書の発送等適切な滞納整理活動の実施など3課の連携により、達成できたと考える。</p>

重点事業	令和元年度の 目標	実施結果	評 価	評価理由及び対応
重点施策3：被保険者の健康づくり				
特定健康診査等 受診率向上対策	特定健康診査受診率 37.0%	特定健康診査受診率 (見込み) 40.6% (H30実績：39.8%)	○	<p>前年度受診者の健診費用無料化や個別データ分析により受診勧奨等の強化や啓発に努めた結果、目標を達成する見込み。引き続き、普及啓発に向けた取り組みを実施する。</p> <p>《具体的な取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度受診者の自己負担無料対象 6,994 人（受診者の 74.5%） ・オプトアウト方式による健診申込 869 件 ・Web 予約システムによる 24 時間申込受付による申込 840 件 ・個別データ分析による受診勧奨：7 月 3,313 件、9 月 11,587 件、11 月 10,727 件 ・市内医療機関に受診啓発チラシ配布 6,000 枚 ・未受診者 6,500 人に電話勧奨実施、予約者 495 人（7.6%）を獲得 ・総合健診での特定健診受診者 3,239 人のうち 469 人（14.5%）ががん検診と同時実施による自己負担割引利用。
健康推進アプリ 「BIWA-T EKU」事業	加入者数 190人	加入者数 213人 (全体917人) (*新規事業)	○	<p>チラシ配布や地域新聞への掲載など、ビワテク利用の啓発に努めた結果、目標を達成した。</p> <p>《取組内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発チラシを 12,000 部作成し、市内薬局やまちづくりセンター、イベント等で配布。 ・景品抽選用の賞品として 16 種類 72 点の協賛協力をいただいた。応募総数は 240 口。 ・スタンプラリー用ウォーキングコースを 5 コース登録。 ・健康イベントを 7 件登録 <p>※ウォーキングコース及び健康イベントは令和 2 年 1 月より開始</p>

○達成 △概ね達成 × 未達成

概況

(1) 総括事項

浅井診療所、浅井東診療所、中之郷診療所(上丹生出張診療所、今市出張診療所)、にしあざい診療所(塩津出張診療所、菅浦出張診療所)の4医科診療所(4出張診療所)と、中之郷歯科診療所の1歯科診療所を運営しています。

運営については、浅井診療所、浅井東診療所、西浅井地区診療所は指定管理者、中之郷診療所は湖北病院にて行い、持続可能な医療体制の確保を図っています。今後も指定管理者制度の活用や関係医療機関との連携により医師を継続的に確保し、併せて、診療所経営の健全化を目指します。

(2) 利用状況

患者数は前年度との比較でほぼ横ばい傾向です。今後、へき地地域においては、高齢化率が高く医療の需要が増加する一方で、人口減による患者数の減少が見込まれます。

診療状況

(単位:日、人)

		浅井	浅井東	中之郷	にしあざい	中之郷歯科	浅井歯科
日数	R1	217.0	240.0	112.5	293.5	226.5	
	H30	219.5	241.0	120.5	453.0	223.0	193.0
延人数	R1	4,395	12,898	3,290	14,076	3,560	
	H30	4,266	11,568	3,641	14,140	2,639	2,458
1日当たり 人数	R1	20.3	53.7	29.2	48.0	15.7	
	H30	19.4	47.9	30.2	31.2	11.8	12.7

備考:にしあざい診療所のH30実績については、永原診療所、塩津診療所、菅浦出張診療所の合計

(3) 収支の状況

単年度収支はすべての診療所で赤字となっており、患者数の減少が見込まれる中、今後も赤字が続くと予想されるため、より効率的な運営の必要があります。

歳入総額	238,385 千円	前年度	214,922 千円
歳出総額	225,569 千円	前年度	199,404 千円
収支額	12,816 千円	前年度	15,518 千円
内R2年度繰越明許	(8,800 千円)	内R1年度繰越明許	(6,435 千円)

基金の状況

(単位:円)

長浜市国民健康保険 直営診療所管理運営 基金	平成30年度末 現在高(A)	当年度取崩額 (B)	当年度積立額 (C)	当年度末現在高 A-B+C
	973,550,089	107,337,111	11,023,788	877,236,766

未収金の状況

(単位:円)

交通事故損害賠償金	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額 (C)	収入未済額 (未納額)A-B-C
	129,180	0	0	129,180

地方債の状況

(単位:円)

診療施設等整備	平成30年度末 (A)	当年度借入金 (B)	当年度元金償還額 (C)	当年度末残高 A+B-C
	35,754,045	0	7,359,813	28,394,232

令和元年度長浜市国民健康保険特別会計(直診勘定)決算

● 歳入

(単位:千円)

	令和元年度						平成30年度		比較 A/B
	医科				歯科		決算額 A	決算額 B	
	浅井	浅井東	中之郷	にしあざい	中之郷歯科	浅井歯科			
診療報酬					26,636		26,636	88,020	0.30
使用料	35	460		278	7		780	1,083	0.72
財産収入							11,024	0	-
前年度繰越金							15,518	6,821	2.28
〔前年度繰越金 うち繰越明許分〕							(6,435)	0	-
他会計繰入金	12,500	14,668	7,406	24,763	7,499	8,800	75,636	115,874	0.65
基金繰入金							107,337	0	-
諸収入					1,455		1,455	3,123	0.47
歳入合計	12,535	15,128	7,406	25,041	35,597	8,800	238,385	214,922	1.11

● 歳出

	令和元年度						平成30年度		比較 A/B
	医科				歯科		決算額 A	決算額 B	
	浅井	浅井東	中之郷	にしあざい	中之郷歯科	浅井歯科			
総務費	71,313	42,442	18,502	23,955	42,398	361	198,971	164,356	1.21
医業費					6,896		6,896	23,391	0.29
公債費			604	7,132	942		8,678	11,657	0.74
諸支出金							11,024	0	-
歳出合計	71,313	42,442	19,106	31,087	50,236	361	225,569	199,404	1.13

①形式収支	12,816	15,518
②繰越金(再掲)	15,518	6,821
③翌年度繰越額	8,800	6,435
④単年度収支(①-②-③)	▲ 11,502	2,262

令和2年度 年間予定表

月	内 容
4月	13日 令和2年度国民健康保険料率 告示
5月	広報ながはま 5月1日号全戸配布 *保険料掲載
6月	15日 令和2年度国民健康保険料納付通知書 発送
7月	1日 令和2年度国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証 発送
8月	26日 第1回 国民健康保険運営協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度国民健康保険特別会計決算について ・令和元年度国民健康保険特別会計(直診勘定)決算について
2月	第2回 国民健康保険運営協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度国民健康保険事業計画(案)について ・令和3年度国民健康保険特別会計予算(案)について ・令和3年度国民健康保険特別会計(直診勘定)予算(案)について ・令和3年度国民健康保険料率について